

特集 まちづくり懇談会

11月10日から全8回開催されたまちづくり懇談会。12月号ではそのうち5回分の内容を紹介した。今月は残る3回分の内容の一部を紹介する。

第6回目 八幡地域会館

Q TPPがスタートするにあたって、農業振興のための予算をしっかりと活用する体制をとってほしい。

A この地域の農業をどのように強くしていくのか、どうやって農家の所得向上を目指すのかという検討を進め、実のある施策にお金を使っているようにしたい。

Q 俱知安町の農産物への付加価値を高めるために、加工施設をつくるべきだと思う。

A 地域の特色を活かした加工をし、俱知安町の農産物の魅力を広めていく戦略を考えていなければならぬ。JAとも話を進めていきたい。

Q TPPはまだ批准したわけではない。最後まで反対してほしい。

A TPPには農業以外の分野も含まれており、総合的に日本にとつ

て有利という判断で進んでいる中で反対を続けても厳しい。しっかりと実を取れるように地域からやってほしいことを国に要望し、政策に反映してもらおう姿勢が必要だと思う。

第7回目 南地域会館

Q 西小学校の校区には、小中学生が放課後に集まれる絵本館のような施設がない。南地域会館をどのように利用できるだろうか。

A 会館を管理している南地域コミュニティの人たちとも話をし、上手く使っていく方法を探っていきたい。

Q 2年後に統合保育所が始まるが、保育士の有資格者確保についてどのように考えているか。

A 統合保育所になった場合、現状の数では保育士が足りなくなる。正規職員で3・4人の補充が必要になる。計画的な補充を考えている。

Q 中学生までの医療費無償化が始まっているが、それによって病院にかかる人が増えるのではないかと懸念している。病院にからないための健康的な体づくりの取り組みをしていく必要があると思う。

A 今年は、町民の健康づくりとして町民マラソン記録会が実施され、多くの人が参加した。そういう取り組みを進めていきたい。コンビニ受診は控えてもらいたい。必要ときに受診することで早期回復し、結果的に医療費抑制につながると考えている。



▲子どもから大人まで幅広い年代で健康づくりを進める必要がある

第8回目 中小企業センター

Q 夏の観光について、自然を巡るバスツアーを検討してはどうか。

A 羊蹄山や高山植物など貴重な自然をPRしていきたい。夏のゴンドラ営業を利用したマウンテンバイクによるアクティビティの充実も図りたい。

Q 「スキーの町」として、もっとスキーに力を入れるべき。

A 学校教員のスキー指導力不足は感じている。教員の代わりにインストラクターを導入するなど、スキーを楽しませる教育をしていきたい。

Q 俱知安町のふるさと納税返礼事業はどのようにしているのか。

A 今年度12月1日から実施しており、ホームページも整備した。現在の特産品の品目が少ないので、最低でも30品目はそろえたい。

Q 生活に不便のないような除排雪体制を築いてほしい。

A 建設業は人手不足で大変な状況ではあるが、通年雇用に向けて技術の向上、資格取得に努めているようだ。業者と意見交換をしながら、安定した除排雪を行っていきたい。



▲豪雪地域に住む人たちの暮らしを守るため、除排雪の充実が重要な課題だ